

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成14年6月24日



うつくしま、ふくしま。

福島県

目次

1 最近の県経済動向	1
2 福島県の主要経済指標	3
個人消費	
大型小売店販売額 乗用車新規登録台数	3
建設需要	
新設住宅着工戸数 公共工事請負金額 業務用建築物着工棟数	3
生産活動	
鉱工業生産指数 投資財生産指数 消費財生産指数	4
鉱工業出荷指数 鉱工業在庫指数	
大口電力使用量 大口電力契約量	5
雇用・労働	
新規求人倍率 有効求人倍率	5
有効求人数 有効求職者数 雇用保険受給者実人員 現金給与総額指数	6
所定外労働時間指数 常用雇用指数 パートタイム労働者比率	7
物価	
卸売物価指数 消費者物価指数	7
企業・金融	
企業倒産件数・負債総額 金融機関預貸残高 貸出約定平均金利	8
中小企業業況判断DI	9
市場	
株式 円相場	9
3 景気動向指数(福島県)	10
4 中小企業経営動向調査((財)福島県産業振興センター)	11
5 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	12
(参考)	
1 福島県金融経済概況	14
2 月例経済報告	14

注

鉱工業指数(県)については、年間補正及び生産動態統計調査による遡及訂正により数値を改めました。

お願い

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部電子社会推進・統計室
統計分析グループ
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
電話 024(521)7143
FAX 024(521)7914

1 最近の県経済動向

県内の景気は、生産活動の一部に持ち直しの動きがあるものの、個人消費や雇用情勢が低迷し、引き続き厳しい状況にある。

(1) 個人消費

大型小売店販売額(4月)は総額約197億円となり、前年同月比(店舗調整後)で3.4%減少し、12年10月を除き9年9月から前年割れが続いている。

内訳をみると、百貨店は衣料品、身の回り品、飲食料品、家庭用品、その他の商品で前年を下回ったため、同6.7%の減少となった。一方、スーパーは衣料品、飲食料品、家庭用品、その他の商品、食堂喫茶で前年を下回ったため、同2.4%の減少となっている。

乗用車新規登録台数(5月)は5,716台となり、前年同月比で3.6%上回った。

内訳をみると、小型車、軽自動車はともに対前年での伸び率が大きく増加した。一方、大型車、中型車は前年を下回っている。

(2) 建設需要

新設住宅着工戸数(4月)は総戸数1,346戸となり、前年同月比で5.7%減少し、一進一退を続けている。内訳をみると、持家が平成12年10月以来1年6か月振りに前年を上回ったものの、貸家、分譲住宅は前年を下回っている。

公共工事請負金額(5月)は総額約210億円となり、前年同月比で2.0%下回った。

内訳をみると、国の機関からの発注は前年を下回ったが、地方は7か月振りに前年を上回っている。

業務用建築物着工棟数(4月)は140棟となり、前年同月比で17.6%減少した。

内訳をみると、商業は4か月振りに、サービス業用は5か月振りに前年を下回り、鉱工業用は7か月連続で前年を下回っている。

(3) 生産活動

鉱工業生産指数(4月)は96.1となり、前年同月比で3.2%と1年3か月振りに前年を上回っている。

投資財生産指数(4月)は61.6となり、資本財、建設財ともに前年を下回ったため、前年同月比で8.3%の低下となったが、マイナス幅は縮小してきている。

消費財生産指数(4月)は110.1となり、前年同月比で3.9%と11か月振りに前年を上回った。内訳をみると耐久消費財が同5.5%、非耐久消費財が同7.1%となり、非耐久消費財が3か月振りに前年を上回っている。

鉱工業出荷指数(4月)は109.7となり、前年同月比で8.8%と3か月連続で前年を上回った。**鉱工業在庫指数(4月)**は103.3となり、前年同月比で13.3%下回っている。

大口電力使用量(4月)は前年同月比で1.7%となり、9か月振りに前年を上回った。一方で、**大口電力契約量(4月)**は前年同月比で2.6%となり、6か月連続で下回っている。

(4) 雇用・労働

新規求人倍率(4月)は0.73倍となり、前月比で0.03ポイント低下している。

有効求人倍率(4月)は0.42倍となり、前月比で0.01ポイント上昇し、3か月連続上回っている。

雇用保険受給者実人員(4月)は21,231人となり、前月より1,425人増加している。

現金給与総額指数(名目)(4月)は79.9となり、4か月連続で前年同月を下回っている。

所定外労働時間指数(4月)は88.5となり、12か月連続で前年同月を下回っている。

常用雇用指数(4月)は96.9となり、11年2月以降、前年同月を下回る動きが続いている。

(5) 物価

卸売物価指数(全国・5月)は94.4となり、前月に引き続き前年同月比 1.2%で横ばいとなっている。

消費者物価指数(福島県・4月)は98.4となり、前年同月比 1.2%で下落幅は3か月連続で縮小している。

(6) 企業・金融

企業倒産(5月)は、件数は20件となり、前年同月比で同水準となっている。負債総額は70億4700万円となり前年同月比で43.7%減少している。

倒産件数を業種別にみると、建設関係が6件で最も多くなっている。また、理由別では販売不振が14件と大半を占めている。

金融機関預金残高(4月)は総額5兆6860億円となり、前年同月比で 2.2%と13か月連続前年を下回っている。一方、**貸出残高**は総額3兆7048億円となり、前年同月比で 8.9%と3か月連続で前年を下回り、マイナスの幅が拡大している。

貸出約定平均金利(4月)は、2.300となり、7か月振りに2.3%台に戻り前月比で0.019ポイント上回っている。

(7) 中小企業の業況

県内中小企業の業況感を表すDI値(5月)は 50.5となり、前月と同水準となっている。

業種別にみると、製造業で前月より若干改善したが、卸売業では若干悪化している。

2 福島県の主要経済指標

区分 年月	個人消費				建設需要					
	1 大型小売店販売額		2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額		5 業務用建築物着工棟数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(千戸)	(百万円)	(億円)	(棟)	(棟)
H10年	286,403	232,485	75,399	4,093	17,590	1,198	604,522	264,407	2,253	85,072
11	277,727	231,244	76,549	4,154	16,499	1,215	487,006	240,212	1,863	75,725
12	263,011	226,326	80,969	4,260	15,828	1,230	407,510	209,317	1,863	81,313
13	250,066	223,363	79,253	4,290	15,010	1,174	378,117	192,976	1,621	75,215
12年11月	19,844	18,536	6,579	353	1,349	107	32,467	15,271	185	6,709
12	28,439	25,726	5,850	335	1,360	110	35,360	14,422	171	6,554
13年1月	22,994	19,463	5,054	267	915	81	14,961	9,813	115	5,748
2	19,475	15,899	7,348	388	1,091	83	24,383	10,489	114	5,565
3	22,504	18,718	12,107	600	918	95	50,951	31,075	99	5,891
4	21,142	18,066	5,615	295	1,428	100	35,253	20,360	170	6,345
5	20,546	17,914	5,518	300	1,230	100	21,381	12,977	146	6,494
6	19,349	17,738	6,900	387	1,345	101	38,515	16,335	155	7,056
7	21,264	20,653	7,069	405	1,449	103	44,079	18,496	151	7,122
8	19,995	16,938	4,680	269	1,119	105	37,653	15,921	138	6,675
9	18,058	16,551	7,539	377	1,451	103	34,551	17,964	142	6,286
10	19,262	17,874	5,804	321	1,455	102	46,156	20,214	153	6,228
11	19,395	18,640	6,219	345	1,303	106	23,617	14,388	137	6,073
12	25,861	24,910	5,400	336	1,306	95	29,327	12,744	101	5,732
14年1月	21,275	19,266	5,404	281	996	84	13,563	9,612	121	5,086
2	17,151	15,178	6,765	394	1,049	86	15,184	8,672	103	4,946
3	r 20,432	r 18,508	11,359	585	1,041	89	38,838	25,293	98	5,159
4	P 19,715	P 17,695	5,312	311	1,346	99	34,120	19,586	140	5,600
5			5,716	326			20,954	13,415		
	対前年同期(月)変化率(%)									
H10年	9.7	4.4	8.6	8.9	8.5	13.6	22.9	11.7	10.7	17.0
11	5.0	4.3	1.5	1.5	6.2	1.4	19.4	9.2	17.3	11.0
12	2.7	4.6	5.8	2.6	4.1	1.3	16.3	12.9	0.0	7.4
13	4.3	3.0	2.1	0.7	5.2	4.6	7.2	7.8	13.0	7.5
12年10月	4.4	4.7	6.0	4.0	14.4	1.5	12.9	18.6	13.1	8.6
11	1.8	4.1	1.2	2.9	11.4	2.2	8.0	7.9	24.2	8.6
12	4.4	5.5	9.8	3.3	3.5	10.6	21.1	0.7	0.6	1.0
13年1月	2.0	2.6	4.0	2.3	15.5	11.1	38.2	17.1	7.5	0.5
2	2.6	5.0	2.5	0.2	18.0	5.9	13.1	16.0	24.5	8.5
3	3.4	2.9	1.8	0.7	19.1	1.4	3.8	15.9	27.2	5.4
4	4.2	3.6	2.2	0.9	7.6	7.2	68.0	4.7	19.7	6.5
5	5.3	3.2	0.1	2.1	0.4	0.2	35.2	23.5	0.0	4.3
6	2.3	1.9	4.8	0.9	14.8	10.5	13.1	7.1	1.9	8.0
7	2.4	3.1	2.0	7.3	6.3	1.4	4.1	4.7	20.5	7.9
8	3.5	3.2	1.5	3.6	17.3	1.1	19.6	4.1	3.5	8.2
9	3.4	0.7	0.3	2.3	11.2	2.9	1.3	9.6	7.2	9.0
10	11.5	7.1	4.5	0.4	3.2	3.3	19.4	0.5	15.5	9.4
11	4.5	0.7	5.5	2.1	3.4	1.2	27.3	5.8	25.9	9.5
12	6.2	2.6	7.7	0.5	4.0	12.9	17.1	11.6	40.9	12.5
14年1月	3.9	2.1	6.9	5.2	8.9	3.5	9.3	2.0	5.2	11.5
2	7.4	4.7	7.9	1.6	3.8	2.8	37.7	17.3	9.6	11.1
3	5.4	1.4	6.2	2.6	13.4	6.3	23.8	18.6	1.0	12.4
4	3.4	5.8	5.4	5.7	5.7	0.6	3.2	3.8	17.6	11.7
5			3.6	8.8			2.0	3.4		
備考	百貨店とスーパーの計 前年同期(月)比は店舗調整後		大型、中小型、軽乗用車の計 自動車販売店協会(新車登録 台数実績表) 軽自動車協会		持家、貸家、給与住宅、分譲 住宅の計 県建築住宅課 国土交通省		年表示は、年度ベース 国の機関と地方の機関の計 保証事業者協会(公共工事 前払金保証統計)		鉱工業用、商業用、サービス業用 の計 建設統計月報 国土交通省	
資料 出所	経済産業省(商業動態統計 調査)									

rは訂正值、Pは速報値

区分 年月	生産活動									
	6 鉱工業生産指数		7 投資財生産指数		8 消費財生産指数		9 鉱工業出荷指数		10 鉱工業在庫指数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
H10年	97.7	98.4	86.5	96.6	106.8	100.6	104.7	99.7	131.5	105.0
11	98.6	99.2	83.2	92.6	111.2	101.3	106.1	101.0	136.5	95.9
12	101.6	105.0	87.1	97.4	111.8	102.6	108.2	107.1	147.9	95.2
13	94.3	96.8	79.6	92.1	108.8	99.1	105.1	99.1	113.0	97.7
12年11月	105.4	108.0	91.4	99.0	117.4	107.0	109.6	109.4	143.9	96.5
12	106.4	107.2	101.1	101.2	115.4	105.7	114.9	110.4	134.0	94.2
13年1月	93.5	95.0	81.5	88.7	92.6	87.4	96.9	95.1	120.5	99.0
2	98.3	101.5	90.9	100.8	105.6	98.9	104.0	103.3	112.3	100.5
3	105.7	114.3	102.2	129.5	120.4	109.8	114.3	122.2	111.6	94.1
4	93.1	97.1	67.2	88.7	106.0	99.6	100.8	96.7	119.2	97.4
5	93.1	93.7	74.6	84.0	109.3	97.1	100.3	93.4	121.5	100.6
6	96.2	98.2	81.5	91.3	111.8	103.5	104.9	99.8	120.5	101.2
7	95.9	97.3	78.6	87.6	112.0	102.6	107.4	99.6	120.8	100.8
8	88.3	88.9	72.4	81.5	106.0	93.1	101.7	90.7	118.2	100.2
9	92.3	96.4	79.6	99.1	109.6	97.3	109.6	102.1	110.9	94.2
10	94.0	95.5	75.4	84.0	111.1	104.4	109.7	95.7	102.7	96.0
11	92.2	93.6	78.7	85.4	111.6	99.5	107.7	95.8	100.5	95.8
12	89.2	90.6	72.0	84.3	109.8	95.8	103.3	94.5	97.2	92.2
14年1月	85.0	84.3	68.8	77.9	92.0	84.4	95.7	85.3	89.8	95.3
2	91.3	89.8	75.5	82.6	98.3	94.1	104.3	92.5	101.5	95.1
3	r 100.6	103.1	r 90.3	110.9	r 107.9	101.8	r 115.0	112.0	r 102.4	86.7
4	P 96.1	91.2	P 61.6	75.0	P 110.1	95.8	P 109.7	92.9	P 103.3	87.0
5										
	対前年同期(月)変化率(%)									
H10年	5.8	7.1	14.8	12.0	1.3	3.8	2.2	6.6	3.1	0.9
11	0.9	0.8	3.8	4.1	4.1	0.6	1.3	1.3	3.8	8.6
12	3.0	5.8	4.7	5.2	0.5	1.3	2.0	6.1	8.4	0.7
13	7.2	7.7	8.6	5.5	2.7	3.4	2.9	7.5	23.6	2.6
12年10月	4.8	6.6	12.7	7.5	5.0	3.1	2.6	6.0	3.7	2.0
11	0.3	3.7	4.9	8.8	2.7	0.9	3.8	3.0	8.2	1.4
12	4.3	4.1	21.2	8.1	2.4	0.3	4.0	4.0	14.9	2.2
13年1月	4.8	1.8	14.1	3.9	7.2	0.1	3.9	1.8	30.5	1.7
2	0.6	1.6	6.8	1.7	0.6	1.7	0.2	1.6	28.1	2.9
3	5.7	2.8	8.4	2.3	2.4	2.7	4.0	2.6	25.8	3.0
4	5.5	4.1	4.8	1.0	7.9	2.2	4.5	5.2	24.0	4.6
5	1.2	3.8	0.8	2.1	5.9	0.4	0.6	3.7	16.8	5.6
6	6.1	8.5	4.8	4.7	3.3	3.5	5.8	8.4	16.6	4.9
7	6.9	8.1	7.7	4.8	4.5	2.7	4.1	7.7	14.5	3.7
8	9.5	11.6	10.3	12.4	5.3	2.5	5.1	11.3	13.4	3.7
9	12.3	12.4	18.5	10.9	2.9	6.4	0.1	11.8	21.5	3.1
10	11.5	11.5	15.9	12.1	4.9	2.6	0.9	11.3	31.7	0.6
11	12.5	13.3	13.9	13.7	4.9	7.0	1.7	12.4	30.2	0.7
12	16.2	15.5	28.8	16.7	4.9	9.4	10.1	14.4	27.5	2.1
14年1月	9.1	11.3	15.6	12.2	0.6	3.4	1.2	10.3	25.5	3.7
2	7.1	11.5	16.9	18.1	6.9	4.9	0.3	10.5	9.6	5.4
3	4.8	9.8	11.6	14.4	10.4	7.3	0.6	8.3	8.2	7.9
4	3.2	6.1	8.3	15.4	3.9	3.8	8.8	3.9	13.3	10.7
5										
備考	原指数 平成7年 = 100									
資料	県電子社会推進・統計室「鉱工業指数月報」									
出所	経済産業省									

rは訂正值、 Pは速報値

区分 年月	11 大口電力使用量		12 大口電力 契約量	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率	
	福島県	全国	福島県	福島県	全国	福島県	全国
	(千kWh)	(百万kWh)	(kW)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)
H10年	4,459,474	258,248	1,197,593	0.92	0.92	0.57	0.53
11	4,587,953	256,891	1,197,182	0.89	0.87	0.51	0.48
12	5,002,712	266,707	1,226,599	1.09	1.05	0.65	0.59
13	5,046,831	259,858	1,259,922	0.87	1.01	0.54	0.59
12年11月	436,429	22,141	1,251,783	1.22	1.13	0.72	0.65
12	443,058	22,065	1,254,270	1.12	1.14	0.74	0.66
13年1月	422,842	21,164	1,256,811	1.14	1.11	0.71	0.65
2	413,065	20,860	1,263,425	1.05	1.09	0.68	0.64
3	441,527	22,104	1,267,198	1.05	1.06	0.66	0.62
4	407,467	20,980	1,262,355	1.00	1.07	0.63	0.62
5	408,458	21,261	1,265,048	0.95	1.07	0.61	0.62
6	435,646	22,472	1,264,528	0.90	1.06	0.57	0.61
7	456,406	23,562	1,277,062	0.85	1.01	0.54	0.60
8	410,397	21,983	1,274,608	0.81	0.99	0.50	0.58
9	416,886	21,903	1,266,255	0.76	0.97	0.48	0.57
10	416,056	21,901	1,248,174	0.72	0.90	0.44	0.54
11	408,656	20,917	1,238,398	0.66	0.90	0.41	0.52
12	409,425	20,751	1,235,205	0.65	0.91	0.39	0.51
14年1月	393,276	19,838	1,233,051	0.73	0.85	0.39	0.51
2	396,846	19,774	1,230,761	0.79	0.88	0.40	0.50
3	416,952	21,031	1,229,369	0.76	0.94	0.41	0.51
4	414,574	20,609	1,228,924	0.73	0.90	0.42	0.52
5							
	対前年同期(月)変化率(%)						
H10年	2.4	3.0	2.7	-	-	-	-
11	2.9	0.5	0.0	-	-	-	-
12	9.0	3.8	2.5	-	-	-	-
13	0.9	2.6	2.7	-	-	-	-
12年10月	10.2	2.6	3.8	-	-	-	-
11	12.6	2.8	4.6	-	-	-	-
12	12.9	2.6	4.7	-	-	-	-
13年1月	12.3	3.8	4.6	-	-	-	-
2	5.1	1.7	4.7	-	-	-	-
3	7.0	0.3	4.9	-	-	-	-
4	6.2	0.4	4.1	-	-	-	-
5	5.5	1.0	4.2	-	-	-	-
6	2.5	2.3	3.6	-	-	-	-
7	1.1	1.2	3.7	-	-	-	-
8	2.9	4.5	3.3	-	-	-	-
9	4.1	6.0	2.1	-	-	-	-
10	4.6	4.7	0.4	-	-	-	-
11	6.4	5.5	1.1	-	-	-	-
12	7.6	6.0	1.5	-	-	-	-
14年1月	7.0	6.3	1.9	-	-	-	-
2	3.9	5.2	2.6	-	-	-	-
3	5.6	4.9	3.0	-	-	-	-
4	1.7	1.8	2.6	-	-	-	-
5				-	-	-	-
備考	県は東北電力、国は電力10社計 契約量の年値は、月平均値			新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月値は季節調整値			
資料 出所	東北電力福島支店 電気事業連合会			福島労働局職業安定部 厚生労働省			

区分 年月	15 有効求人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者実人員		18 現金給与総額 指数(名目)	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)		
H10年	19,786	1,265	33,523	2,395	16,244	1,021	101.4	100.7
11	18,595	1,207	36,783	2,530	17,401	1,073	98.3	99.4
12	23,413	1,473	35,986	2,507	16,193	1,038	100.0	100.0
13	21,956	1,534	40,363	2,598	17,937	1,080	100.7	98.9
12年11月	26,706	1,615	33,708	2,362	15,754	1,038	84.4	84.3
12	24,486	1,517	32,278	2,288	15,130	1,000	186.4	189.1
13年1月	24,785	1,556	34,469	2,417	15,088	1,003	86.1	87.0
2	24,233	1,633	34,344	2,442	15,326	993	83.4	79.9
3	25,543	1,774	36,448	2,593	15,117	973	90.1	85.5
4	23,918	1,706	40,697	2,810	15,656	984	83.4	82.2
5	23,165	1,545	41,924	2,761	17,635	1,090	82.3	80.7
6	20,950	1,457	41,193	2,638	17,419	1,073	142.8	136.7
7	21,067	1,453	41,231	2,580	19,033	1,138	108.7	121.8
8	20,477	1,477	40,924	2,553	19,271	1,167	91.9	87.1
9	20,643	1,515	41,381	2,545	19,150	1,125	82.8	80.1
10	21,156	1,530	44,445	2,672	20,618	1,166	83.8	80.5
11	20,151	1,455	44,305	2,616	20,404	1,138	82.9	83.2
12	17,386	1,310	42,994	2,546	20,521	1,112	190.2	182.2
14年1月	17,591	1,368	44,841	2,715	21,252	1,136	82.2	83.5
2	18,037	1,437	43,949	2,725	20,606	1,101	80.8	79.0
3	19,820	1,589	45,749	2,832	19,806	1,047	85.7	84.9
4	19,750	1,571	50,641	3,096	21,231	1,068	79.9	80.8
	対前年同期(月)変化率(%)							
H10年	20.3	15.3	17.8	15.6	21.5	16.8	3.1	1.9
11	6.0	4.6	9.7	5.6	7.1	5.1	3.1	1.3
12	25.9	22.0	2.2	0.9	6.9	3.3	1.7	0.6
13	6.2	4.1	12.2	3.6	10.8	4.0	0.7	1.1
12年10月	30.1	30.3	3.3	0.9	8.7	3.0	1.8	1.0
11	31.0	29.0	6.7	2.2	10.2	4.2	2.4	0.8
12	30.2	30.0	5.2	1.8	10.3	5.2	4.4	0.8
13年1月	24.3	25.1	4.5	2.1	8.4	3.0	4.1	1.4
2	17.0	19.9	1.9	2.3	7.4	4.4	2.1	0.4
3	13.0	14.7	0.2	0.7	4.2	2.2	3.8	0.3
4	6.3	13.7	4.1	1.8	1.9	0.4	0.4	0.0
5	4.8	12.1	7.7	2.8	6.4	7.4	2.0	0.1
6	5.6	6.0	9.4	2.2	5.0	2.0	3.3	0.9
7	7.0	4.2	13.6	4.1	14.8	2.1	4.9	0.5
8	16.0	1.1	14.6	3.9	13.1	9.8	0.9	2.0
9	20.7	4.8	17.5	4.6	21.1	6.6	1.3	1.2
10	20.7	7.4	25.2	8.7	28.2	9.6	0.8	1.2
11	24.5	9.9	31.4	10.8	29.5	9.6	1.8	1.3
12	29.0	13.6	33.2	11.3	35.6	11.2	2.0	3.6
14年1月	29.0	12.1	30.1	12.3	40.9	13.3	4.5	4.0
2	25.6	12.0	28.0	11.6	34.5	10.9	3.1	1.1
3	22.4	10.4	25.5	9.2	31.0	7.6	4.9	0.7
4	17.4	7.9	24.4	10.2	35.6	8.5	4.2	1.7
備考							全産業5人以上 平成12年=100	
資料 出所	福島労働局職業安定部 厚生労働省						県電子社会推進・統計室「毎月勤 労統計調査結果速報」厚生労働	

区分 年月							物価			
	19 所定外労働時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム 労働者比率		22 卸売物価 指数	23 消費者物価指数		
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国	福島県	全国	
H10年	104.2	97.3	101.4	100.5	12.6	16.3	97.5	100.8	101.0	
11	92.2	95.8	100.5	100.2	15.8	19.5	96.1	100.5	100.7	
12	100.0	100.0	100.0	100.0	15.4	20.2	96.1	100.0	100.0	
13	94.3	96.3	97.6	99.8	15.7	21.0	95.3	99.3	99.3	
12年11月	104.8	105.2	99.9	100.2	15.2	20.6	95.9	99.5	99.7	
12	103.5	106.3	99.5	100.2	16.0	20.7	95.9	99.8	99.8	
13年1月	96.4	96.2	97.3	99.6	13.7	21.0	95.7	100.1	99.8	
2	101.1	99.3	97.7	99.3	14.7	21.0	95.7	99.8	99.5	
3	108.1	104.5	97.6	99.0	14.4	20.9	95.6	99.7	99.3	
4	104.9	101.5	98.0	99.9	14.9	20.6	95.5	99.6	99.5	
5	88.7	94.3	97.6	100.0	15.2	20.7	95.5	99.8	99.6	
6	89.6	94.4	97.6	100.2	15.1	20.7	95.4	99.2	99.3	
7	92.3	94.4	97.7	100.3	16.0	20.9	95.5	98.7	99.0	
8	86.2	91.5	97.4	100.1	16.9	21.1	95.4	99.2	99.4	
9	88.1	92.5	98.0	99.9	16.7	21.1	95.2	99.0	99.2	
10	90.9	94.6	97.7	99.9	16.6	21.0	94.8	99.2	99.2	
11	92.7	95.8	97.9	99.9	17.3	21.2	94.6	98.5	98.7	
12	92.6	96.8	97.3	99.9	16.4	21.5	94.6	98.5	98.6	
14年1月	83.3	89.9	96.7	99.2	15.7	21.8	94.4	98.5	98.4	
2	88.5	93.9	96.6	99.0	16.9	21.8	94.5	97.9	97.9	
3	94.8	99.0	95.6	98.6	16.6	21.8	94.4	98.0	98.1	
4	88.5	99.0	96.9	99.5	15.6	21.7	94.4	98.4	98.4	
5							94.4			
	対前年同期(月)変化率(%)						対前年同期(月)変化率(%)			
H10年	1.6	9.7	1.0	1.2	-	-	1.6	1.1	0.6	
11	11.5	1.5	0.9	0.3	-	-	1.5	0.3	0.3	
12	8.5	4.4	0.5	0.2	-	-	0.1	0.5	0.7	
13	5.7	3.7	2.4	0.2	-	-	0.9	0.7	0.7	
12年10月	6.1	3.9	0.3	0.1	-	-	0.2	0.5	0.9	
11	4.1	3.7	0.9	0.0	-	-	0.2	0.5	0.5	
12	6.2	3.8	1.5	0.1	-	-	0.2	0.0	0.2	
13年1月	4.7	3.1	3.1	0.1	-	-	0.4	0.1	0.3	
2	3.1	1.8	2.1	0.1	-	-	0.4	0.1	0.3	
3	4.8	0.2	1.3	0.2	-	-	0.6	0.4	0.7	
4	1.9	2.2	2.7	0.2	-	-	0.7	0.7	0.7	
5	4.2	1.5	2.6	0.2	-	-	0.6	0.6	0.7	
6	5.1	2.4	2.7	0.2	-	-	0.7	1.0	0.8	
7	8.1	4.5	2.3	0.2	-	-	0.9	1.2	0.8	
8	14.0	4.6	2.7	0.2	-	-	1.0	0.9	0.7	
9	15.3	7.5	1.9	0.2	-	-	1.1	0.8	0.8	
10	12.4	7.3	2.3	0.1	-	-	1.1	0.7	0.8	
11	11.5	8.9	2.0	0.3	-	-	1.4	1.0	1.0	
12	10.5	8.9	2.2	0.3	-	-	1.4	1.3	1.2	
14年1月	13.6	6.5	0.6	0.4	-	-	1.4	1.6	1.4	
2	12.5	5.4	1.1	0.3	-	-	1.3	1.9	1.6	
3	12.3	5.3	2.0	0.4	-	-	1.3	1.7	1.2	
4	15.6	2.5	1.1	0.4	-	-	1.2	1.2	1.1	
5					-	-	1.2			
備考	全産業5人以上 平成12年=100						(総平均) 平成7年=100	(総合) 平成12年=100		
資料 出所	県電子社会推進・統計室「毎月勤労統計 調査結果速報」厚生労働省						日本銀行 「経済統計月報」	県電子社会推進・統計室「福島県消 費者物価指数」総務省		

区分 年月	企業・金融									
	24 企業倒産				25 金融機関預貸残高				26 貸出約定平均金利	
	福島県		全 国		福島県		全 国		福島県	全 国
	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高	地元地銀 3行	国内銀行
(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)	(%)	(%)	
H10年	296	89,842	19,171	143,812	57,049	41,143	47,789	48,882	2.712	2.255
11	202	195,800	15,460	135,522	57,742	39,634	48,677	46,881	2.652	2.100
12	257	64,113	19,071	239,874	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116
13	289	214,959	19,441	162,130	57,283	40,033	48,617	44,822	2.262	1.880
12年11月	25	4,856	1,683	12,226	58,111	38,954	47,734	45,601	2.523	2.091
12	40	7,332	1,550	8,319	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116
13年1月	25	118,508	1,358	9,696	57,808	38,870	47,858	45,850	2.509	2.106
2	17	11,363	1,448	11,153	57,970	39,985	47,723	45,701	2.442	2.092
3	22	4,597	1,703	23,668	57,158	40,315	47,686	45,697	2.454	2.047
4	29	18,249	1,631	10,480	58,158	40,687	48,758	45,006	2.355	2.017
5	20	12,516	1,724	10,215	57,420	40,038	48,489	44,559	2.335	1.990
6	22	5,345	1,563	6,907	57,979	39,861	48,237	44,729	2.322	1.950
7	30	14,668	1,567	7,470	57,231	39,464	47,888	44,543	2.340	1.936
8	34	10,922	1,612	7,355	57,102	39,333	47,748	44,400	2.330	1.925
9	23	6,238	1,568	30,013	57,484	39,559	48,079	45,056	2.330	1.896
10	29	5,033	1,911	10,710	56,757	39,503	47,674	44,375	2.287	1.898
11	19	4,446	1,851	18,821	57,146	39,543	48,207	44,320	2.268	1.898
12	19	3,074	1,505	15,641	57,283	40,033	48,617	44,822	2.262	1.880
14年1月	13	2,393	1,620	10,673	56,221	38,870	48,514	44,303	2.298	1.878
2	23	11,833	1,712	12,714	56,240	38,686	48,958	44,251	2.298	1.875
3	13	4,017	1,788	20,411	56,464	38,552			2.281	1.877
4	27	12,724	1,641	12,765	56,860	37,048			2.300	1.879
5	20	7,047	1,696	10,846						
	対前年同期(月)変化率(%)									
H10年	37.0	126.0	17.1	2.6	1.5	0.5	0.7	0.9	-	-
11	31.8	117.9	19.4	5.8	1.2	3.7	1.9	4.1	-	-
12	27.2	67.3	23.4	77.0	2.0	0.1	0.9	1.0	-	-
13	12.5	235.3	1.9	32.4	2.7	1.0	0.8	3.4	-	-
12年10月	22.7	38.6	22.7	1,253.4	1.6	0.2	2.5	2.0	-	-
11	56.3	97.4	22.7	199.3	1.9	0.1	1.5	1.1	-	-
12	100.0	151.5	0.2	111.9	2.0	0.1	0.9	1.0	-	-
13年1月	25.0	5,378.9	5.8	60.6	1.9	1.4	1.1	0.9	-	-
2	21.4	524.0	0.3	7.6	2.1	0.1	0.2	1.2	-	-
3	29.4	62.4	3.8	265.9	0.6	0.9	1.0	1.4	-	-
4	11.5	109.6	4.4	10.8	0.0	2.5	0.4	1.6	-	-
5	42.9	508.8	12.8	39.1	1.1	3.6	1.5	1.5	-	-
6	37.5	81.2	0.2	63.2	1.9	3.0	2.4	1.3	-	-
7	66.7	287.7	3.1	82.5	2.4	1.1	1.7	2.0	-	-
8	30.8	16.2	5.4	46.6	2.5	0.5	1.1	2.2	-	-
9	64.3	272.4	4.4	287.7	1.3	0.1	0.7	2.1	-	-
10	7.4	43.8	11.7	87.5	1.4	0.8	1.3	2.4	-	-
11	24.0	8.4	10.0	53.9	1.7	1.5	1.0	2.8	-	-
12	52.5	58.1	2.9	88.0	2.7	1.0	0.8	3.4	-	-
14年1月	48.0	98.0	19.3	10.1	2.7	0.0	1.4	3.4	-	-
2	35.3	4.1	18.2	14.0	3.0	3.2	2.6	3.2	-	-
3	40.9	12.6	5.0	13.8	1.2	4.4			-	-
4	6.9	30.3	0.6	21.8	2.2	8.9			-	-
5	0.0	43.7	1.6	6.2					-	-
備考	負債総額1,000万円以上				年・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀 ・信用金庫の計 国の預金残高は実質預金				(総合) 年・月末残ベース	
資料 出所	帝国データバンク				県、国ともオフショア勘定を含む。 日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」 日本銀行「経済統計月報」					

区分	27 中小企業業況判断DI						市場			
	福島県						28 株式		29 円相場	
	年月	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	株価	出来高	インターバンク相場 (東京市場) 中心値平均
								東証株式 (第1部)	東証株式 (第1部)	
							(円)	(100万株)	(円/米ドル)	
H10年	-	-	-	-	-	-	15,359.83	121,595	130.90	
11	-	-	-	-	-	-	16,788.51	141,200	113.91	
12	-	-	-	-	-	-	17,160.77	169,600	107.77	
13	-	-	-	-	-	-	12,102.37	199,533	121.53	
12年11月	24.4	14.2	62.3	31.0	36.7	0.0	14,760.87	11,821	108.89	
12	24.7	13.2	64.7	25.0	40.6	4.3	14,409.74	13,964	112.21	
13年1月	40.7	32.2	53.2	46.9	55.6	32.7	13,720.95	12,218	117.10	
2	38.0	40.1	53.7	24.1	48.1	15.8	13,266.27	13,561	116.04	
3	43.3	48.7	68.9	44.3	38.0	14.3	12,708.47	19,202	121.12	
4	45.5	43.1	72.0	43.8	49.4	28.3	13,411.84	20,053	123.83	
5	48.3	47.5	61.5	46.0	58.0	32.0	13,975.55	18,178	121.93	
6	54.2	54.4	69.6	52.3	63.5	31.7	12,974.89	17,466	122.15	
7	54.2	58.6	54.0	49.2	62.9	36.4	12,151.11	14,093	124.68	
8	57.8	60.4	70.6	51.6	59.6	44.3	11,576.21	17,063	121.61	
9	61.0	64.3	73.2	60.6	56.8	46.4	9,996.83	16,003	118.98	
10	64.2	65.1	68.6	58.3	69.8	57.7	10,438.90	17,272	121.28	
11	63.9	69.5	73.5	51.6	60.0	56.5	10,511.22	16,428	122.31	
12	65.2	68.7	59.2	61.7	64.5	61.6	10,496.20	17,996	127.36	
14年1月	64.5	66.1	65.3	53.0	75.9	56.6	10,300.79	14,641	132.66	
2	61.7	60.6	68.6	57.3	68.1	56.1	9,981.65	16,456	133.52	
3	51.0	46.5	62.3	56.1	55.4	46.8	11,448.80	20,601	131.20	
4	50.5	46.6	70.8	52.1	50.6	47.2	11,384.49	17,470	131.07	
5	50.5	44.6	70.7	53.9	51.1	47.8	11,709.62	20,000	126.48	
H10年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12年10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13年1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14年1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
備考	前年同期(月)比で「良い」-「悪い」社数構成比(各月末時点)						日経平均 (225種)	売買株数	直物相場	
資料 出所	県産業振興センター						日本経済 新聞社	東京証券 取引所	日本銀行	

3 景気動向指数(福島県)

概括

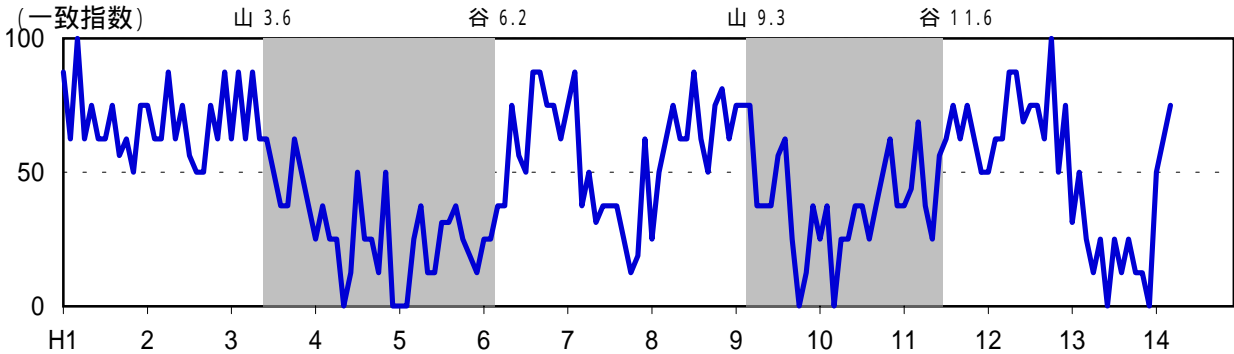
3月の景気動向指数は、先行指数66.7%、一致指数75.0%、遅行指数33.3%となった。

先行指数は、3か月連続で50.0%を上回った。

一致指数は、2か月連続で50.0%を上回った。

遅行指数は、19か月連続で50.0%を下回った。

景気動向指数(DI)グラフ



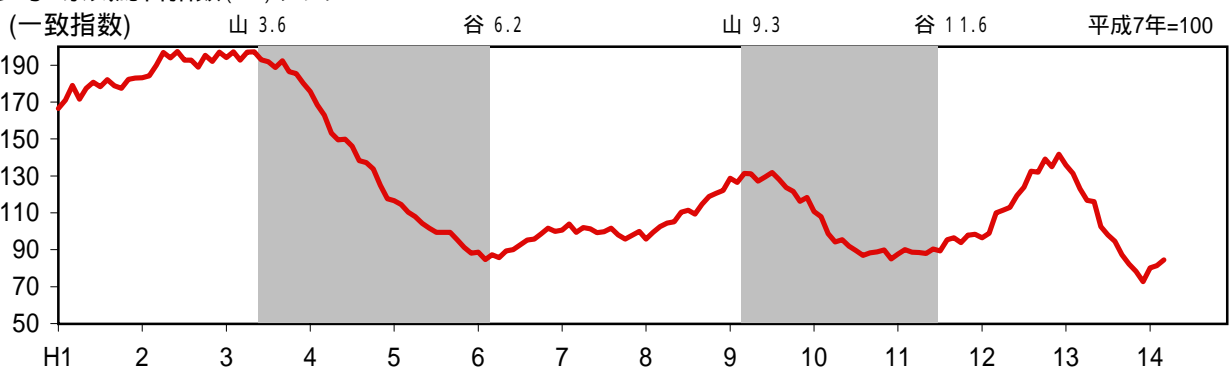
DI(Diffusion Index) : 景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張期、下回っていれば景気後退期と判断される。

DI表

区分	景気動向指数					
	福島県			全国		
年月	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
12年11月	22.2	50.0	28.6	33.3	36.4	57.1
12	50.0	75.0	14.3	41.7	81.8	71.4
13年1月	33.3	31.3	21.4	16.7	45.5	28.6
2	33.3	50.0	42.9	0.0	9.1	57.1
3	38.9	25.0	42.9	8.3	9.1	42.9
4	33.3	12.5	28.6	41.7	18.2	28.6
5	33.3	25.0	14.3	58.3	27.3	28.6
6	22.2	0.0	28.6	16.7	18.2	28.6
7	44.4	25.0	42.9	29.2	9.1	71.4
8	27.8	12.5	28.6	25.0	0.0	42.9
9	22.2	25.0	28.6	16.7	9.1	28.6
10	22.2	12.5	14.3	0.0	9.1	28.6
11	27.8	12.5	42.9	0.0	18.2	14.3
12	22.2	0.0	14.3	33.3	27.3	28.6
14年1月	66.7	50.0	16.7	↑ 58.3	↑ 45.5	↑ 14.3
2	55.6	62.5	0.0	↑ 58.3	↑ 54.5	↑ 14.3
3	66.7	75.0	33.3	↑ 83.3	↑ 68.2	↑ 28.6
4				P 75.0	P 80.0	P 66.7
採用指標数	9指標	8指標	7指標	12指標	11指標	7指標

一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

参考 景気総合指数(CI)グラフ



CI(Composite index) : 景気変動の強弱の把握を目的として、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

一般に、一致指数が上昇しているときが景気拡張期、下降しているときが景気後退期である。

製造業

不況の底を突いて上向きに転じてきているとの事であるが、地方の食品製造業、販売業はより以上に厳しさが強くなっている状況である。【食料品】例年ながら夏秋の端境期、仕事は途切れがち。秋物の時期まで持ちこたえるのが大変。【縫製】売上先の倒産が昨年2社、今月1社、自社のみ頑張ろうとしても頑張りがきれない。【木材・木製品】前年と比べると良化してきているが、現在の社会状況では先行き不安である。【木材・木製品】例年の仕事が受注でき、前年並みとなるも、先行き不透明感は継続。【印刷】季節的な要因で受注が少ない。【窯業・土石】昨年同期に比べ出荷量は伸びているが、価格の競争は激化しているので資金繰りは厳しい。

【窯業・土石】この不景気を何とかしないと製造業はみんな無くなってしまう。【鉄鋼・非鉄】客先仕入先(購入窓口)の一本化により量の増加を見込めるが、単価の下落を要望される。【金属】一時的な金型の受注で良くなったが、先行きは厳しさが残る。定期的な流れ品は受注が増えない。【金属】仕事の激減のため、単価の低下、鋼材の値上げにより、加工費が出ない状態が続いている。

【一般機械】あらゆる分野での産業空洞化が加速。特に中国への生産へのシフトが激しい。【電気機器】工業界は少し明るい兆しがあるが、単価の下落が著しく大変である。【精密機器】向こう3か月の注文受注状況は昨年と同等まで回復とまでは行かないが、若干増えつつある。メーカーからのコスト引き下げ要求が相変わらず強く、コスト対応策に苦心している。【精密機器】競争すればするほど、単価が下がっていく。需要のパイが小さい。新分野開発には時間がかかる。【プラスチック】

建設業

受注量が激減し、かつ不採算工事が増え、厳しい環境が続いている。【土木】建設業にとって生死の選別される時代を迎えている。【建築】福島市内においては、仕事量は少しあるようだが、住宅の場合はハウス会社、一般的箱物はゼネコンというような状況である。【建築】

卸売業

売れる店、売れない店が選別されてきた。県内だけの販路では生き残っていくことはできなくなった。【衣服】会津営業所の売上高(前年比)の減少により経営が悪化している。【飲食料】中小土建業者の仕事量の減少、破綻、リストラが当社業績に影響が出ている。【機械器具】

小売業

昨年よりチェーン店に加入した。品数も増え、お客様の要望に少しは応えることができ、売上も昨年よりは良いようだ。【中小スーパー】一時的に売上の改善が見られるが、続かないので全体としてまだ良くない。ワールドカップ等スポーツの明るい話題が多いが、政治は話にならない話題ばかり。経済も斑模様で曇りが多い。【中小スーパー】

失業率5.2%といわれるが、職種を選ばなければ無いわけではない。生活が豊か過ぎる習慣から抜け出して、原点に戻ってみるのも今後の生き方を支える源となるのでは。過去良すぎた生活の反省も大切なこと。経済の回復は国民の意識を変えることからと思う。【中小スーパー】先行き良くなるとは考えられない。海外商品が異常に多くなり、販売価格の低下により、売上高の下落と共に国内製造業の廃業、または倒産と悪い情報が続いている今日である。将来への不安が募る。【衣料】ますます競合先が増え続け、酒屋の将来は危ない状況になっている。【飲食料】いずれにせよ相変わらず経営環境は改善されない。より以上の自助努力が必要。他人(金融機関)を頼らない。【家具・建具】家具店、総合衣料店を経営しているが、両方の業界とも悪化の一途を辿っている。【家具・建具】業界は相変わらず低迷し続けている。いつの時代でも、気を緩めず堅実に、真面目に継続すること以外、何もありません。【家具・建具】建設関連業界の信用収縮が進み、安心して物が納入できない状況が続いている。【その他】

サービス業

客足が少し動き出してきた感じがする。期待したい。【観光旅館】社会の変化を見守り、精一杯の努力で乗り切る。【観光旅館】4月以後、最悪の状態。【自動車整備】土木建設業の業務用ソフトを開発販売しているが、建設業界はまだまだ先が見えず、悪い話題ばかりで業績にも影響が出ている。ここ1年で取引先3社が廃業した。【情報サービス】

食品製造業

(1) 豆腐油揚

天候がカラッとして来たせいか冷や奴の売れ行きが少々良くなって来た。また、今年は安近短で山菜取りが多いのか、出回っている関係か、油揚げ等の加工品も少々良く出た。

最大の理由はカツオが不漁であったからかも知れない。

(2) パン

本組合の組合員数は年々減少しているが、13年度は7名の脱退となり、現在88名となってしまった。原因としては御多分にもれず経営者の高齢化、後継者難・経営難が大部分であるが、米飯給食の委託加工炊飯が給食センターでの炊飯設備に伴って委託取り消しとなり、やむなく廃業せざるを得なくなった組合員もあり、一片の文書によって何の補償もなく切り捨てられてしまう不安定な状態が現出し、組合としても対応に苦慮している。景況は依然として低迷したままである。

(3) 味噌醤油

3月、4月に比較すれば5月になって落ち着いているように見えるが、なかなか良い状態に回復するような状況とは言い難い。県内業者(組合員)の大手と零細の企業には格差が出ており、生産の増加、減少が顕著に出て来ている。市場の価格は未だ低迷が続いている現状に加え、業務用の価格低迷が中小企業に重くのしかかっている。組合員の高齢化と後継者問題もかかえ、組合員の脱退者も年々多くなって来ている。組合運営も今後どのようになるか不安材料も多い。

JAS法の改正をはじめとする表示等の改正など問題も山積みとなっており、将来どんな方向に進むのか、平成14年度の業況がつかめないまま頭が痛いところである。

(4) 乾麺

乾麺業界は天候に支配される傾向が強く、5月は昨年比で低調だった。

単価を維持するための増量は、結局、単価下落を引き起こしている。

製粉業界の乾麺二次加工への進出は業界混乱のもとである。

(5) 食品団地

週末の天候が不順のため、小学校等の運動会が順延となるなど、日配品の流通が思わしくなかった。

木材・木製品製造業

(6) 製材業

(県一円) 事業の縮小や廃業をする企業が増え、先行きは全く不透明である。

(外材輸入) 新設住宅着工数が低迷する中、各社とも受注に応じた対応をしているものの、梅雨を

控え低調に推移している。一部の組合員で半月稼働の者が出て来ている。また、廃業する組合員も出ている。

紙・紙加工品製造業

(7) 紙器段ボール箱

印刷紙器の貼り箱、簡易箱、段ボール箱も景気の後退の影響を受け、紙器段ボール箱とも受注が減少傾向で、市況も過当競争により不安定である。特に段ボールについては原紙の価格、シート価格の値上げがささやかれており、各企業がその対応に苦慮している。

出版・印刷

(8) 印刷

県内各地域とも低調である。特に浜通り、会津地区において低調。会津地区は、観光、漆器、酒造業、建設業とも全体的に悪化した。それに伴い、印刷業も悪化している。

また、農協の合併、市町村の合併、県立病院の統廃合等が進むと、印刷物の減少傾向はさらに顕著になる。これは業界にとっては死活問題である。

窯業・土石製品製造業

(9) コンクリート製品

緑越工事の減少や早期発注工事の出遅れにより、製品出荷量は前年同月比で68.3%と大幅な低下となり、在庫増となった。

また、販売先企業の倒産も頻発している状況下にあることから「販売促進」と「リスク回避」の両面に配慮した営業の展開が必要となっている。

(10) 砕石

(いわき地区) 工事の発注がなく、先の見通しが立たない状況である。

(11) 生コン

公共事業工事が減少したため、出荷数量が低迷している。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

(12) (郡山地区)

個々の業者によって格差が大きく、受注は片寄っている。したがって一概に良いとも悪いとも言えず、不透明な現況にある。この後どう変化するかも予想がつかない。

引き合いは多くあるが受注に至る物件は少ない。また、価格は変わらず低調である。

(13) 各種プラント機器

5月度は、新年度に入って2カ月経過したが、プラント工事の引き合い件数は前月比、前年同月比とも減少している。民間設備投資はかなり減少している。

(14) 電子工業

携帯電話及びパソコン等の国内で生産しているパーツに関しては、上半期は受注量が増加傾向にある。しかし他の家電品等の受注は、ほぼ海外生産シフトが完了しているためか、全然受注がない状況である。

(15) 卸売業

(県中地区) 機能性、嗜好性の高い商品については二極分化が進んでいるが、日頃消費する商品については相変わらず低価格指向が定着している。

(県南地区) 須賀川市内にある牡丹園、つつじ園とも昨年同様の人出はみたが、出店企業の売上高、収益は前年に比べて減少・悪化をみた。資金繰りの悪化した企業が散見された(組合の転貸融資で対応)。市内銀行は各行とも貸し渋りの状況。

卸団地として生き残るには、卸のみでなく小売と併合しなければならない。店づくり、団地づくりについて、経営研究会を中心に検討することとした。

(16) 再生資源

鉄スクラップ及び古紙の市況は、国内スクラップの順調な輸出に支えられ強含み持ち合いが続いている。非鉄スクラップも海外市況の動意を受けて先高含みの展開である。

しかし、製造業の海外移転加速により組合員の扱っパイが縮小している。新たな生き残りの道を早急に模索しなければならない状況に直面している。

(17) 肥料卸

通常5月～7月は肥料の不需要期のため売上が減少するが、今年は春の訪れが早かったためにさらに拍車がかかり、4月中旬頃までに出荷は終了した。よって5月に入ってから需要がなく前年に比べて減少となった。

小売業

(18) 石油

4月に引き続き、元売り各社での仕切上げが実施された。県内での販売価格は若干上昇しているものの、過去2ヶ月の仕切上げには達していない。スタンドとしては仕切上げ分を販売価格に反映しきれない状況で、経営環境は一段と厳しくなっている。

(19) 食肉

牛相場は低迷、豚相場が高騰し、牛、豚小売販売価格等に一部変化があったものの、大きな変化ではなかった。牛肉の需要が減少しているためか、食肉販売収益は悪化している。

明るいニュースは、福島市内の学校給食に牛肉(福島産)が使われるようになったことである。

(20) 米穀

一般消費者向けの需要は、相変わらず低調のうちに推移している。原料玄米についても、銘柄によっては値下がり傾向のものも見受けられるが、末端販売価格の下落をカバーするところまでになっていないのが現況である。よって粗利は減少し、米穀専門店の経営は今後も厳しいものがある。

商店街

(21)

福島市：サラリーマンは5月初旬の大型連休でレジャーに支出したが、物販に対する個人消費は依然として低調である。

郡山市：5月5日(日)に恒例のイベント「おおまち笑・SHOW・商」を開催した(4月は雨天で中止)。郡山市主催の子供まつりと重なったが、イベントとして定着してきたこともあり、まずまずの集客だった。

TMO郡山が認可されてから初の事業年度に入り、今後の積極的な事業展開が期待される。

いわき市：平一丁目再開発ビルが完成し、ビル内で営業しているテナントに本組合に加入していただけるよう折衝をしているところである。

原町市：原町サティの閉店問題で商店街は混乱している。駅通りの人の流れは目を疑うばかりの閑散ぶりである。組合員同士も、これで良いのか? どうすれば良いのか? という問題意識のもと日夜会合を持ち、打開策に頭を痛めているところである。

サービス業

(22) 美容業

4月、5月は行事が多く例年業績が良いが、今年は前年よりやや好転しているようだ。

6月は梅雨の時期ということで例年客足が遠のくが、この時期が好調だと今年の業界は期待が持てる。

(23) 旅館業

(土湯温泉)6月はワールドカップもあり、宿泊も減少するのではないかと5月は、3、4、5日の連休のみが満室で、それ以降は低調であった。

建設業

(24) 建設業

(県一円)組合員で倒産が3社出た。内1社は民事再生法による手続きを申請中である。

(県南地区) 土木、建築とも公共工事については、維持工事の発注が中心で、新規工事の発注が少ない。民間は依然として低調である。

(25) 管工事

給水申請、排水申請は前月比で増加した。(福島市)

運輸業

(26) トラック運送

(県北地区) 輸送量の停滞、運賃水準の低下、燃料価格の高騰、規制緩和にともなう熾烈な競争、厳しい環境対策としての最新規制適合車への買い換え、高速道路料金、9種にも及ぶ自動車関係諸税及び荷主の倒産など七重苦ないし八重苦に喘いでおり、組合員は厳しい対応を迫られている。

(27) ハイヤータクシー

連休による不調は例年どおりである。来月開催の福島競馬に期待している。

参考

1 「福島県金融経済概況」

平成14年6月4日 日本銀行福島支店

(引続き生産が持ち直しつつあり、景気の悪化テンポは緩やかになってきている)

県内景気は、最終需要に力強さがみられない一方で、輸出増を背景に生産が持ち直しつつあり、悪化テンポは緩やかになっている。

すなわち、国内設備投資向けなど内需関連企業では依然として減産を続ける先が多い。しかし、海外景気の持ち直しや在庫調整の進捗等から、情報通信・電子部品関連企業では稼働率を引き上げる先が増加しており、生産水準は全体として持ち直しつつある。

一方、公共投資、設備投資は、引続き減少基調にあるほか、個人消費も全体として低調に推移している。なお、住宅投資は、着工戸数では再び前年を下回った。

この間、雇用情勢は、全体としては厳しい状況ながら、生産持ち直しを背景に、パート・請負社員の採用に踏み切る動きが徐々に広がっている。

2 「月例経済報告」

平成14年6月17日 内閣府

(我が国経済の基調判断)

景気は、依然厳しい状況にあるが、底入れしている。

- ・設備投資は、減少している。失業率が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい。
- ・個人消費は、横ばいで推移するなかで、一部に底固さもみられる。
- ・輸出はアジア向けを中心に増加しており、生産は一部持ち直しの動きもみられる。企業収益は、下げ止まりの兆しがみられる。

先行きについては、輸出の増加や在庫調整が概ね終了していることの影響が、今後経済全体に波及していくなかで、景気は持ち直しに向かうことが期待される一方、依然厳しい雇用・所得環境などが、今後の最終需要を下押しする懸念がある。

(政策の基本的態度)

政府は、自律的経済成長を実現するため、民間需要・雇用の拡大に力点を置いた構造改革を進める。このため、6月下旬に経済活性化戦略、税制改革、歳出改革など内容とする「経済財政運営と構造改革の基本方針(仮称)」を取りまとめる。

また、デフレ克服に向け、政府・日本銀行は引き続き一体となって強力かつ総合的な取組を行う。

利用の手引き

1 はじめに

県内経済の動きについては、「福島県景気動向指数」を昭和60年から毎月発行して、景気の拡張・後退局面及び山・谷の基準日設定などの統計指標を提供してきました。我が国経済が低成長期に入り、よりコンパクトで全体像が把握できる統計指標への要望が高まってきましたので、関係機関の御協力もいただき、「最近の県経済動向」を平成6年4月より毎月発行しております。

今後さらに内容の充実に努めていきたいと考えていますので、御意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

2 しくみ

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に役立つように、マクロ的（巨視的）観点で簡潔に概況を述べるよう努めています。代表的な経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選び、全国比較もできるようにしています。

また、景気動向指数の要点をグラフで示すとともに、参考として、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」を取り上げました。

部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所	部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所
個人消費	大型小売店販売額	経済産業省	有効求人人数 有効求職者数 雇用保険受給者実人員 現金給与総額指数 所定外労働時間指数 常用雇用指数 パートタイム労働者比率	福島労働局職業安定部 厚生労働省	
	乗用車新規登録台数	自動車販売店協会 軽自動車協会			
建設需要	新設住宅着工戸数	国土交通省			県電子社会推進・統計室 厚生労働省
	公共工事請負金額	保証事業会社協会			
	業務用建築物着工棟数	国土交通省			
生産活動	鉱工業生産指数	県電子社会推進・統計室 経済産業省		物価	卸売物価指数（総平均）
	投資財生産指数		消費物価指数（総合）		県電子社会推進・統計室 総務省
	消費財生産指数		企業・金融	企業倒産件数・負債総額	帝国データバンク
	鉱工業出荷指数			金融機関預貸残高	日本銀行福島支店 日本銀行
	鉱工業在庫指数		貸出約定平均金利	中小企業業況判断DI	県産業振興センター
	大口電力使用量	東北電力福島支店 電気事業連合会	市場		株式
	大口電力契約量			円相場	日本銀行
雇用・労働	新規求人倍率	福島労働局職業安定部 厚生労働省			
	有効求人倍率				